

農作業特報

黒部市
黒部市農業技術会議

主力品種「コシヒカリ」は、いよいよ収穫時期を迎えます。今年はお穂後20日間の平均気温が高温(28℃前後)で経過し、胴割れしやすい条件となっていることから、刈り始めの籾黄化率は「80%」を目安として、胴割米の発生防止に努めましょう。

水管理

- ・収穫の5～7日前まで間断かん水を行う。
- ・特に、フェーンが予想される場合は、事前に入水する。

コシヒカリの刈取り

1 適期刈取り

今年はお穂後、高温・多照で推移したことから、登熟期の進みが早く、9月も気温が高めと予報されていることから、刈り遅れによる胴割米の発生を防ぐため、「**籾黄化率80%**」を目安に刈取りましょう。

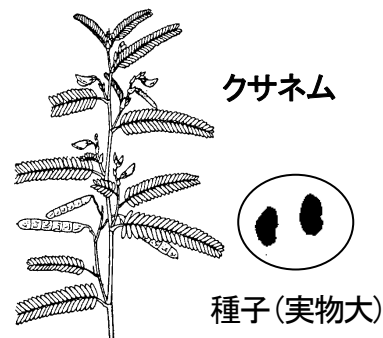
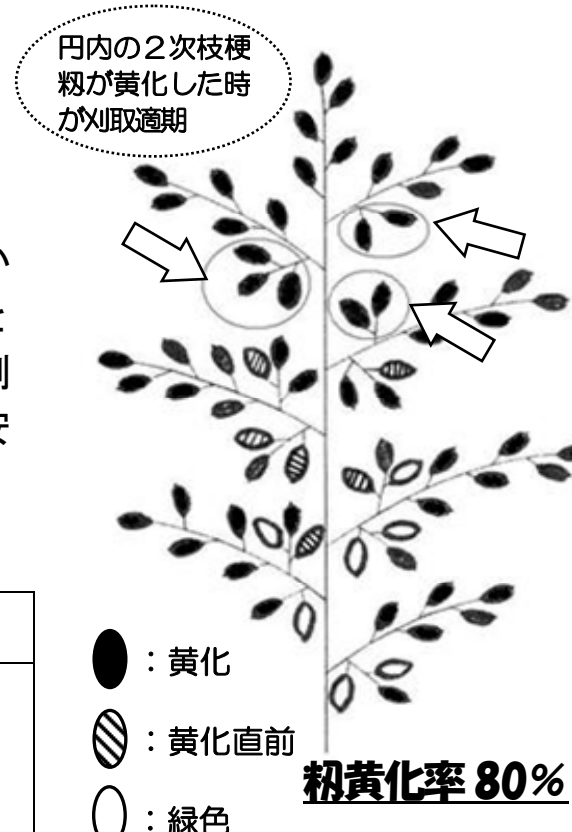
【刈取り時期の目安】(平坦地の平均)

出穂時期	成熟期
7月30日頃	⇒ 9月5日頃
8月4日頃	⇒ 9月11日頃
8月9日頃	⇒ 9月17日頃

※今後の気象によって刈取り時期が変わる可能性があります。刈取り適期の表示札を参考に刈取り日を決めましょう。

2 玄米への異物混入の防止

- ①刈取りの前に必ずクサネム等の雑草を抜き取る。(クサネムの種子は調製段階で取り除けません!)
- ②隅刈りの稲株から小石が入らないように注意する。
※褐変籾が多く発生している場合は、別扱いとする。



異品種混入を防止するため、作業前に、コンバインや乾燥機などの清掃・点検を実施して下さい。

乾燥

～出荷時の玄米水分14.5～15.0%で均一に仕上げる～

- 1 ヤケ米の発生防止
刈取り後、4時間以内に乾燥機へ張り込み、送風する。
- 2 胴割米の発生防止 ～急激な乾燥は厳禁～
張り込み後、2～3時間常温で通風してから、乾燥を開始する。
通常、乾燥速度は0.8%/hr以下としますが、張り込み時の籾水分が20%以下の場合は、0.6%/hrとします。また、籾水分が高い場合は基準温度より5℃低く設定する。
- 3 過乾燥米(水分14.5%未満)とならないように!
①玄米水分が17%以下になったら、自動水分計にたよらず、手動水分計でこまめに測定する(15～20分間隔)。
②青米の混入割合によって、乾燥機の停止水分を正しく設定する。

【乾燥機の停止水分の目安】

100粒中の青米数	乾燥機の停止水分	乾燥機停止後の水分の変化
0～5粒	15.0～15.5%	乾く(-0.5%)
6～10粒	14.5～15.0%	ほとんど変わらない
11粒以上	14.0～14.5%	もどる(+0.5%)



- ③水分が高く、再度乾燥する場合は、低温(室温+5℃)で行う。

調製・出荷

- 1 肌ずれ、モミ混入の防止
籾の温度を十分に冷まし、全体の水分を均一にしてから、籾摺りを行う。
脱ぷ率80～85%になるようにゴムロール間隔を調整する。
- 2 くず米・未熟米の完全除去
1. 9mmのふるい目を使用するとともに、選別機的能力に応じた**適正流量**を厳守して、選別を徹底する。
- 3 紙袋込み重量で30.5kgとし、過不足の無いように!
- 4 栽培管理記録とGAPチェック票を、出荷申込み時に提出して下さい。

モミ混による格下げが増えていきます。

コンバインによる巻き込まれ事故に注意しましょう!
～秋の農作業安全運動展開中 8月20日～10月20日～